

「教員免許状更新講習」

★事業の概要★

事業のねらい

教員が学習指導要領改訂で示された児童・生徒の「体験活動」の必要性について一層の理解を深め、その実習体験をすることにより教育内容の充実を図る。

期

日

平成22年10月 9日(土)～10月11日(月)

会

場

国立大雪青少年交流の家・十勝岳砂防情報センター

対象者

小学校教諭(平成22・23年度末が修了確認期限の方)
※中学校、高等学校教諭の受講も可能

参加者数：参加募集人数

23名(内訳：教員 小学校14人、中学校3人、高等学校5人 特別支援学校1人)：30名

講

師

奥山 清 氏(美瑛町教育委員会教育長)
岡田 弘 氏(環境防災総合政策研究機構理事)
新野 和也 氏(どんころ野外学校インストラクター)
国立大雪青少年交流の家職員

日

程

		12:30	13:30	15:00	17:00	19:00	20:00
10月9日(土)		受付 開講式	講義1 教育の現状と課題 ～教職員への期待～	実習1 学級における信 頼関係づくり①	つどい・ 夕食	実習2 学級づくりに生かす活動集	

	7:15	9:00	11:00	12:30	13:30	17:00	19:00	20:30
10月10日(日)	つどい・ 朝食	実習3 地域の自然を学ぶ	講義2 青少年教育施設 と学校	昼食・ 休憩	実習4 自然体験活動指導技術①	つどい・ 夕食	実習5 自然体験活動指導技術②	

	7:15	9:00	11:00	12:30	13:30	15:00	15:30	
10月11日(月)	つどい・ 朝食	実習6 学級における信 頼関係づくり②	講義3 教育課程と体験活 動の関連性	昼食・ 休憩	履修認定試験	閉講 式	散	

★プログラム紹介★



- ① 実習1「学級における信頼関係づくり①」
 出会いの緊張をほぐし、場を楽しく和やかな雰囲気にするアクティビティを学びました。



- ② 実習2「学級づくりに生かす活動集」
 グループで取り組む課題解決のためのアクティビティを体験を通して学びました。



- ③ 実習3「地域の自然を学ぶ」
 十勝岳砂防情報センター見学や講義を通して、十勝岳噴火の歴史やその周辺の自然、防災等について学びました。



- ④ 実習4「自然体験活動指導技術①」
 講義やハイキングコースの踏査を通して、自然の親しみ方や安全管理の重要性について学びました。



- ⑤ 実習6「学級における信頼関係づくり②」
 集団の中で、お互いの信頼感を高めていくアクティビティを体験しました。



- ⑥ 講義3「教育課程と体験活動の関連性」
 体験活動の効果に加え、青少年教育施設への期待やその活用等について学びました。

企画・運営のポイント

- ① 青少年教育施設の特長を生かし、他校の教員と寝食をともにした講習を通して対人関係能力を養うとともに、新たなネットワークをつくれるよう宿泊型の講習にした。
- ② 学校現場で大きな課題となっている人間関係づくりについて、出会いから集団形成までの流れを、実習と理論に関する講義を通して学び、すぐに学校現場に活かせる内容とした。
- ③ 自然体験活動については、身近な自然と手軽な準備物を使って楽しめる体験を多く取り入れた。また、安全管理については、危険予知や下見の重要性等学校現場に活かせる内容とした。

事業を終えて(成果・課題)

- ① 集団づくりをテーマとした実習では、理論と実践をバランス良く交えて進めたことから、受講者の興味を惹くこととなると同時に、学校現場に戻ってからの実践意欲を高めることとなった。
- ② 自然体験活動指導技術においては、安全管理と学校現場とは違った視点での楽しみ方を学べるようプログラムを進めたことから、受講者から大変好評であり、今後の実践意欲を高めることとなった。
- ③ 今年度以上に新学習指導要領に対応し、学校現場ですぐに実践できる内容を、講義と実習のバランスをよく取りながら受講者に提供していく必要がある。